

三重支所会報

Architectural Institute of Japan



2006年2月発行

(社)日本建築学会東海支部三重支所

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

三重大学工学部建築学科内

TEL 059-231-9666 FAX 059-231-9452

■ご挨拶

会員の皆様には、日頃より支所の活動・運営にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年7月の総会に始まり、2005年度には講演会2回、見学会2回を開催することができました。

本年度据えたテーマの一つは「建築物の有効利用」でした。青木茂氏の講演会では氏が意欲的に取り組んでいる一連の作品に感動、ララスクエア四日市では近年散見される閉鎖された大規模商業施設についてのドラスティックな用途変更の実態を目の当たりにしました。これらはいずれも低成長社会の中で生まれた計画・構造・設備総力戦型の新たな技術でしょう。

一方、新谷氏の講演会では近年の新しいデザインの潮流を支えている巧みな構造設計技術、くわなメディアライヴではPFIという新事業方式で実現された公共建築を実感しました。これらは従来の縦割り型の設計では実現できなかった取り組みであり、参加者には新しい時代の風を感じ取っていただけたと確信します。

本年度の事業はこれで一応完了しましたが、次年度も時代を映し出す企画を組むと共に、会報やメールマガジンを通じ、情報発信に努めたいと考えます。引き続きよろしくご指導・ご支援をお願い申し上げます。

日本建築学会東海支部三重支所長 高井宏之
(三重大学工学部建築学科助教授)

■講演会報告

1.青木茂君特別講演会

「リファイン建築の手法と展望」

日時：2005年10月1日(土) 14:00~16:00

場所：三重県男女共同参画センター・多目的ホール

リファイン建築による建物のリサイクルに関する一連の業績で2001年の日本建築学会賞(業績部門)を受賞した青木茂君(青木茂建築工房代表)より、リファイン建築の意味や手法、展望について実作品を交えながら語って頂きました。参加者数は79名でした。



2.新谷真人君講演会

「構造設計とは-最近の作品から思うこと」

日時：2005年12月22日(木) 14:00~16:00

場所：三重大学工学部17番教室

TOD'S表参道ビル(伊東豊雄設計)など有名建築家の話題作の構造設計を手がける新谷真人君(オーク構造設計代表)より、不定型な構造や、アルミ、鉄、コンクリートなど異種の素材を用いた新しい構造形態の構造解析手法が披露されました。また、昨今の構造計算書偽造問題にもふれ、構造設計者に求められる資質について語って頂きました。参加者数は50名でした。



■見学会報告

1.見学会「くわなメディアライヴ」

日時：2005年9月12日(月) 14:30~16:50

場所：くわなメディアライヴ・多目的ホール

2004年開業のPFI方式による全国初の図書館である「くわなメディアライヴ」の見学会を行いました。鈴木健之氏(桑名市立中央図書館長)より事業内容や施設概要について主に管理運営の立場から御説明を受けたのち、図書館および併設の中央保健センター等を見学しました。参加者数は20名でした。



2.見学会「ララスクエア四日市」

日時：2005年11月12日(土) 14:30~16:30

場所：じばさん三重5階・情報交換室2

百貨店等の撤退後、シネコンや量販店等を誘致し再生を図った「ララスクエア四日市」の見学会を行いました。設計・工事担当の碓井正夫氏(三井住友建設)より大規模商業施設のコンバージョンのポイント等の御説明を受けたのち、施設内の改修ヶ所を主に見学しました。参加者数は15名でした。

■支所活動に関するお問い合わせ

事務局窓口：三重大学工学部建築学科事務室
(TEL:059-231-9666)

庶務幹事：木下誠一(三重大学工学部建築学科)

E-mail:kino@arch.mie-u.ac.jp